



鏡野町長
山崎

親男

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、希望に輝く新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

さて、ここ数年、世界各地で、また、日本列島各地で様々な災害が発生しています。が、昨年も大きな災害に見舞われた二年でありました。

フィリピンにおける台風被害は記憶に新しいところでございます。国内においては7月の山口県・島根県における集中豪雨、10月には台風26号により伊豆大島に甚大な被害をもたらしました。また、全国各地で竜巻とみられる突風による被害も多く発生しており、局地的、短時間に甚大な被害をもたらす災害が増えているのではないかと思われます。

被災者の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

このような中、本町では現在、鏡野地域に光ファイバーの敷設を進めており、完成しますと緊急等の告知放送、ケーブルテレビの視聴、高速インターネットが町全域でできるようになります。

安全・安心のまちづくりや高度情報化に大いに役立つものであり、多くのご家庭でご加入いただければと考えております。なかでも、告知放送につきましては全てのご家庭で加入くださるようお願いするところでございます。

また、社会経済情勢では一昨年、自民党政権が誕生しねじれ国会が解消するとも

に、「アベノミクス」効果が都市部では伝えられるところですが、地方にはいまだ波及効果が見えず大変厳しい情勢となっています。

しかし、富士山が世界遺産に登録され、また、2020年オリンピックが東京に決まるなど、明るい話題もありました。

迎えた新年は、4月から消費税の引き上げが決まっております、経済情勢に大きな変化があるのではないかと心配されるところで。さらには、少子高齢化社会が益々進行し、社会構造変化も一段と進行してまいります。

このような中でのまちづくりは、町民ひとりひとりが自立し、共に支えあう地域社会の実現が求められるところです。

そのため本町では、未来に希望が広がる地域づくりを目指して「鏡野町未来・希望基金事業」を展開し、住民と行政の協働のまちづくりを推進しているところです。

平成27年度からは合併特例の地方交付税も段階的に減額されることになっており、町財政においては今後とも厳しい状況が続くことが予想される中、より一層の財政健全化に努めてまいります。

将来の鏡野町を見据えた町政運営をすすめる、町民の皆様が住んでよかったと感じられるまちづくりにまい進してまいります。

どうぞ、本年も引き続きご支援、ご協力をいただきますようお願いいたします。

本年が、皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶



鏡野町議会議員
小椋 晶志

新年、明けましておめでとうございます。
平成26年の年頭にあたり議会を代表いたしまして、謹んで新春のご祝辞を申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は2020年夏のオリンピックが56年振りに東京で開催されることが決まり、地域経済への波及効果が期待されているところではありますが、「特定秘密保護法」の成立、また今年4月からは消費税の引き上げなど、政治・経済は依然、混沌としており先行き不透明な状況にあります。

いずれにしても、これからの日本が、未来に希望の持てる国になつてほしいと思います。

鏡野町においても、多くの行政課題が山積するなかで、歳出削減に懸命の努力がなされ、行財政改革の効果が表れてきたところです。

本年も限られた財源の中ではありますが、町民の目線に立った、効率的、効果的な事業推進が強く求められていると感じております。

議会といたしましても、「議会の活性化と町民に信頼される議会づくり」を目指し、町民の意見を的確に反映し、安全で安心な地域づくりのため、昨年、議員定

数の削減をはじめ、議会基本条例を制定し、町内12地区で町民との意見交換会を実施したところでありました。今後は、頂いた貴重なご意見を町政に反映させ、活力ある町づくりに新たな決意を持って取り組み、住民福祉の向上に努力して参る所存であります。

町民の皆様方のご理解とご協力を御願い申し上げますと共に、本年も皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。して新年のごあいさつといたします。

